

株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

売上高、利益ともに過去最高を達成

2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）の世界経済は、米国の通商政策や不安定な世界情勢など先行き不透明な状況が継続しているものの好調に推移いたしました。それに伴い、日本経済も輸出が好調に推移するとともに、企業の収益改善や人手不足への対応などを背景に設備投資も拡大基調となりました。こうした中、当社はエスペックグループのシナジーにより海外市場での販売拡大に取り組むとともに、エコカーや自動運転技術の開発が加速する自動車市場で需要が高まっているカスタム製品の収益性改善に取り組んでまいりました。主力の環境試験器については、国内市場では汎用性の高い標準製品、カスタム製品ともに好調に推移いたしました。海外市場では、輸出および現地子会社ともに好調に推移し、中国・米国・欧州・東南アジア・韓国において前年度比で増加いたしました。連結業績といたしましては、前年度比で売上高は11.5%増、営業利益は41.9%増、親会社株主に帰属する当期純利益は48.2%増となり、今年度を最終年度とする中期経営計画「プログレッシブ プラン2017」で掲げる連結業績目標を上回り、売上高、利益ともに過去最高を達成することができました。

期末配当金は1株当たり38円、年間では58円

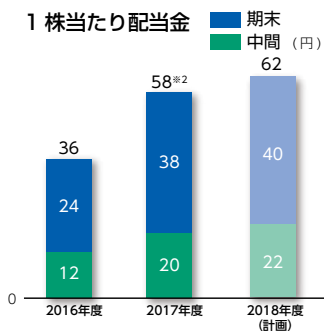
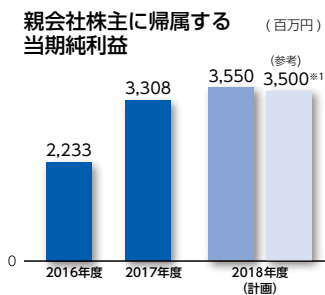
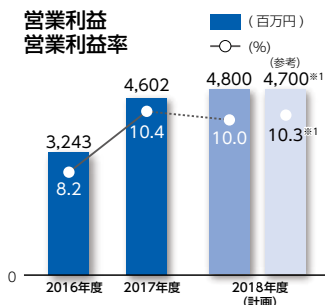
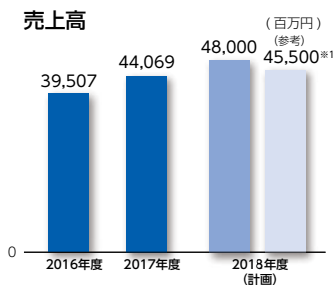
期末の配当金につきましては、1株当たり38円（記念配当1円含む）、年間の配当金は前年度を22円上回る58円（記念配当2円含む）とさせていただきます。配当性向は40.1%となりました。

中期経営計画「プログレッシブ プラン2021」を策定

当社は、さらなる成長に向けて中期経営計画「プログレッシブ プラン2021」（計画実施期間：2018～2021年度）を策定いたしました。初年度となる2018年度におきましては、海外連結子会社の決算期統一のため、連結対象期間を国内連結子会社は従来通り12カ月間（2018年4月～2019年3月）、海外連結子会社は15カ月間（2018年1月～2019年3月）とした変則決算となります。売上高は48,000百万円、営業利益は4,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,550百万円を計画しております。

なお、従来どおり海外連結子会社の決算が12カ月（2018年1月～2018年12月）であった場合の計画は、売上高は45,500百万円、営業利益は4,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,500百万円です。年間の配当につきましては、1株当たり62円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。



※1 海外連結子会社の決算期が12カ月間であった場合
 ※2 記念配当 中間1円、期末1円含む



いしだ まさあき
 代表取締役社長 石田 雅昭

本社2階 回廊にて